

広島県に適應した スマート農業技術の確立に向けたプロジェクト

ひろしま型スマート農業推進事業

愛称:ひろしまseedbox

h i r o s h i m a
SeedBox

新しい農業が生まれる

ひろしまseedbox

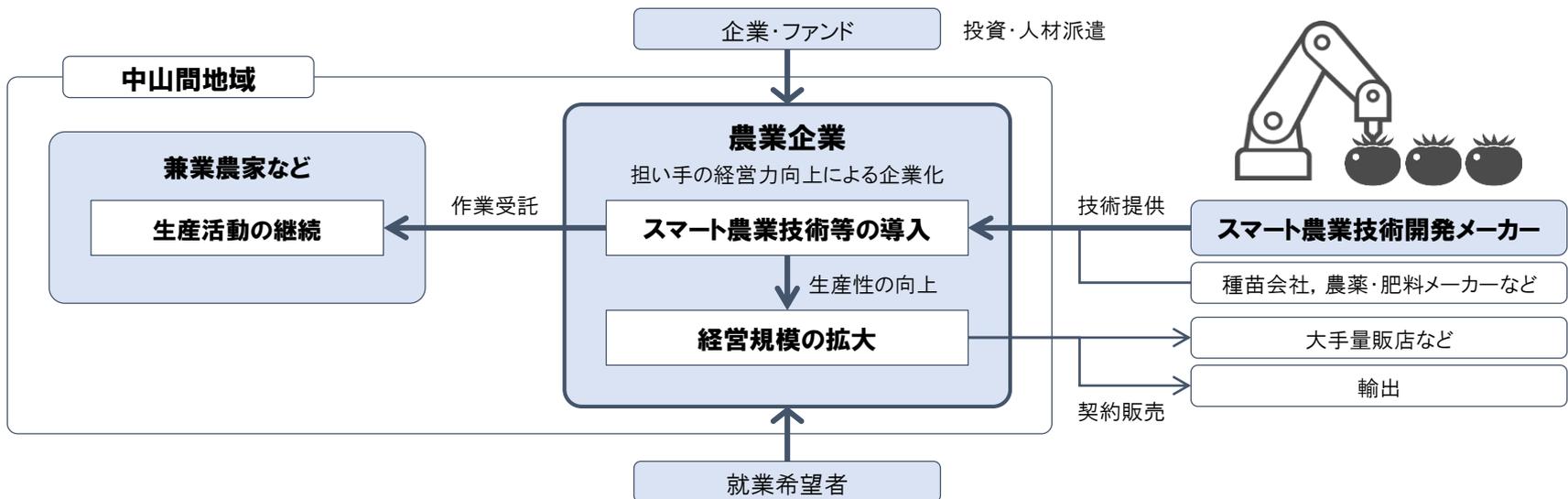
検索

■ INDEX

- 1 スマート農業を推進していく必要性
- 2 ひろしまseedboxで目指すゴール
- 3 ひろしまseedboxの概要
- 4 プロジェクト選定までの流れ
 - ① 参加企業の募集・アイデア登録
 - ② コンソーシアムのイメージ
 - ③ インテグレーターとベンダーとのマッチング
 - ④ 本テーマ(プロジェクトテーマ)の決定
 - ⑤ プロジェクト計画書の募集
- 5 プロジェクトを成功に結びつけるための支援
- 6 お問い合わせ先

1 スマート農業を推進していく必要性

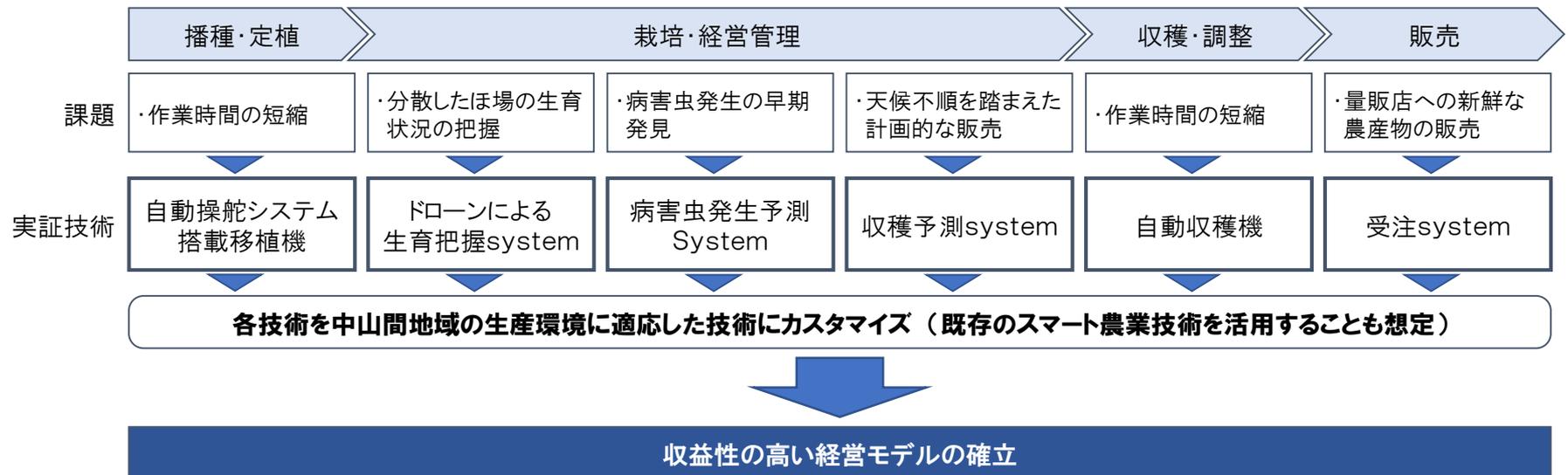
- 広島県の農業は、全国の中でも、担い手が高齢化し、耕作放棄地が増加してきており、このままでは、農業生産を維持していくのは困難なのではないかと危機感を抱いています。
- 現在、企業経営の育成に取り組むことによって、生産構造を再構築し、持続可能な農業を確立することを目指しています。
- その実現には、農業の生産性を向上することが不可欠であり、スマート農業技術の導入による効果が大きいと期待されます。
- そこで、企業経営の育成に向けて、**スマート農業技術の導入による収益力を高める経営モデルを確立**するプロジェクトに取り組んでいます。



2 ひろしまseedboxで目指すゴール

- スマート農業技術の中には、実装段階にあるものもありますが、イニシャルコストに見合ったベネフィットが得られる技術までには確立されていないため、実装にはもう少し時間を要する技術も多く見受けられます。
- 特に、広島県で多くを占める中山間地域の作業効率の悪い農地においては、その導入効果を発揮することは容易ではありません。
- そこで、県では、現在開発中のスマート農業技術を**中山間地域の生産環境に適応するようカスタマイズ**することに加え、**植栽方法や基盤整備など様々な技術もカスタマイズ**し、一体的にまとめることにより、収益性の高い経営モデルの構築に取り組んでいます。

《技術実証のイメージ》



3 ひろしまseedboxの概要

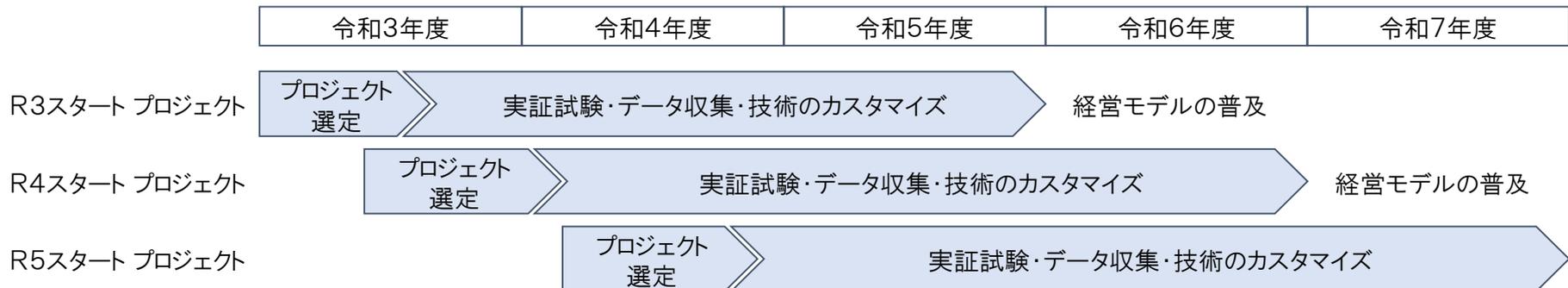
1 プロジェクトの概要

- 収益性の高い経営モデルの構築に向けたプロジェクトは、実効性の高い技術を有する企業等によってコンソーシアムを設立して取り組んでいます。
- プロジェクト開始からモデル確立まで最長3年間とし、プロジェクトに応じて目標とする期日を設定しています。
- モデル確立までの期間に、県内産地の実証フィールドで試験を実施し、データを収集しながら、技術のカスタマイズに取り組んでいます。
- 確立されたモデルについては、成果発表会などを行い、県内への普及を図っていきます。

2 スケジュール

- 令和3年度から令和5年度にかけ、毎年度3つ、計9のプロジェクトを実施します。
- ※すべてのプロジェクトの公募はすべて終了しています。

《スケジュール》



※プロジェクトの公募はすべて終了しています。

4 プロジェクト選定までの流れ

※時期はイメージです。

9/下旬

仮テーマ(アイデア募集テーマ)の設定

9/下旬～

参加企業の募集・アイデア登録

P7～8

仮テーマに対し、課題解決に向けた技術・アイデアを持つ参加企業を募集します。アイデアの登録は、県のホームページで行います。インタグレーター+ベンダーだけでなく、インタグレーターのみ、ベンダーのみでの応募を受付します。

※インタグレーターとベンダーについては、8ページの4②を参照

9/下旬～

参加企業のマッチング

P9

インタグレーターとベンダーのマッチングをホームページに掲載する希望者一覧を利用して行います。

11/上旬

本テーマ(プロジェクトテーマ)の決定

P10

登録していただいた参加企業の皆さんに、設定したテーマ及び事業費をお知らせいたします。

11/上旬

プロジェクト計画書の募集

P11

公募型プロポーザル説明書(後日提示)等に基づき、計画書の提出をお願いします。

11/上旬

実証フィールド生産者との意見交換(webで実施予定)

1/中旬

プロジェクトの決定

4 プロジェクト選定までの流れ

① 参加企業の募集・アイデア登録

1 募集内容

- 仮テーマ(アイデア募集テーマ)で提示した課題に対し、**全体**もしくは**その一部**を解決する**技術やアイデア**を持つ企業を募集します。
- **県のホームページ**にアクセスし、**必要事項の記入・登録**をお願いします。
- 登録された方には、本テーマ(プロジェクトテーマ)の決定後に、**公募の案内**をいたします。

2 参加申込書の内容

① アイデア・技術の内容

- 1テーマあたり、初年度2000万円程度、2年目、3年目1000万円/年の委託費を想定していますので、その範囲内で実証試験が可能な提案をお願いします。
- アイデア・技術の内容については、参加企業には公開します。
(**詳細については、別途、ヒアリングをさせていただきます**ので、公開できる範囲で記入をお願いします。)

② 参考見積額

- テーマごとの課題解決に対し、どの程度費用がかかるのかを提出してください。
- 各テーマの事業費の設定の参考とするために使用しますので、見積額は公開しません。

③ 他企業とのマッチング要望

- 課題解決のために、各企業が連携し、コンソーシアムを組んで、プロジェクトに取り組むことを想定しています。
(コンソーシアムのイメージは8ページをご覧ください。)
- a インテグレーター+ベンダー、b インテグレーターのみ、c ベンダーのみでの応募を受付します。
- 連携先企業がない場合には、要望に応じて、インテグレーターやベンダーとのマッチングを支援します。

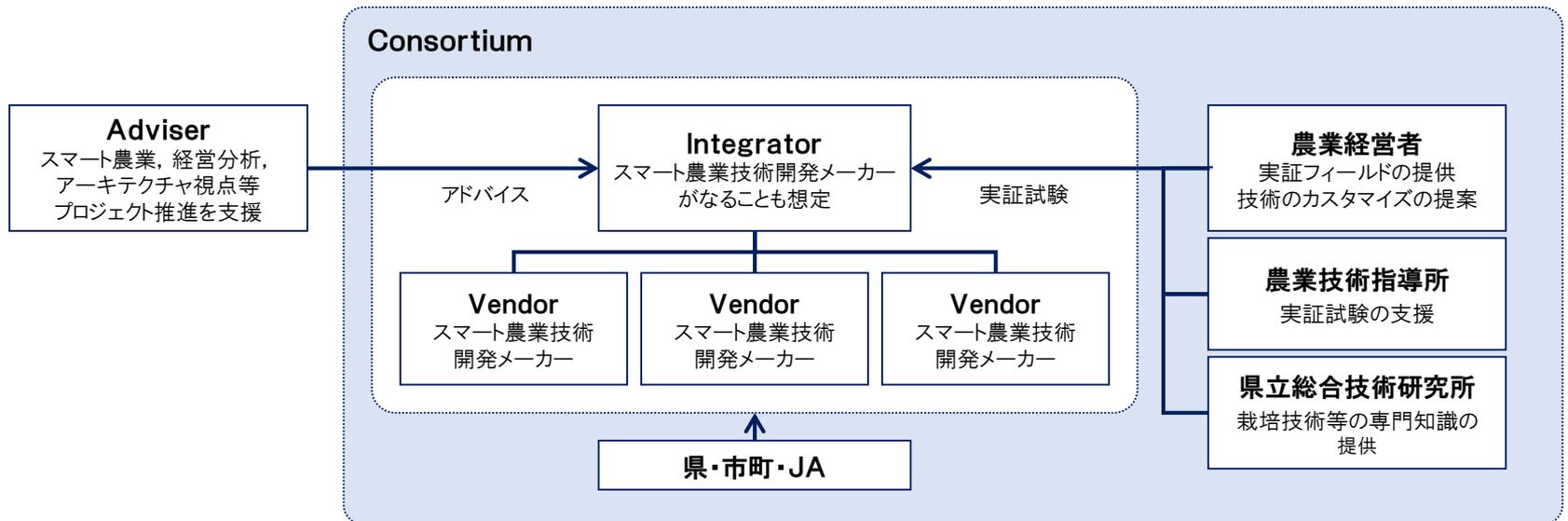
3 参加企業の募集・アイデア登録開始

仮テーマ(アイデア募集テーマ)を設定し募集等を開始

4 プロジェクト選定までの流れ

② コンソーシアムのイメージ

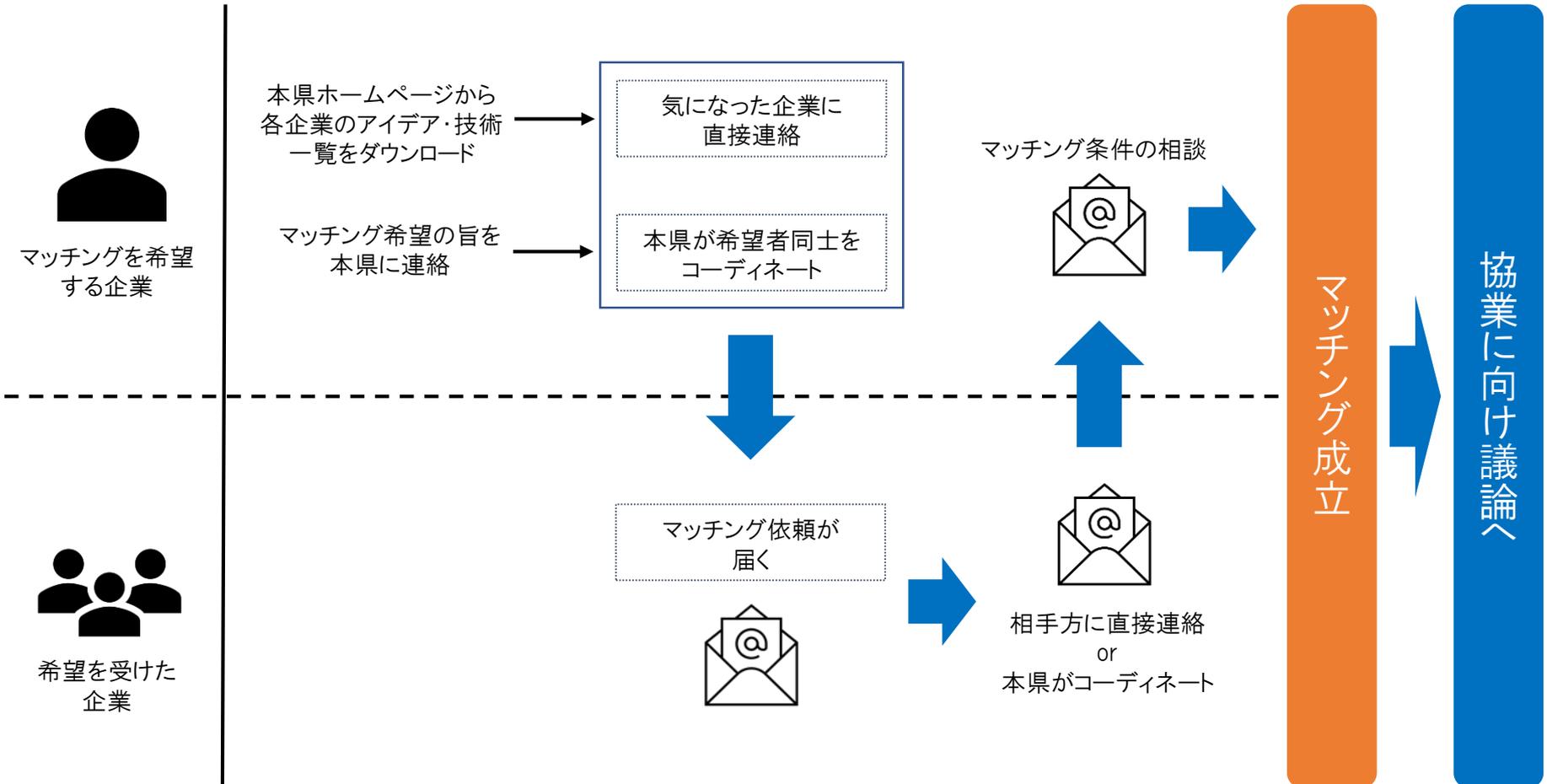
- 収益性の高い経営モデルの構築に向けて設定されたプロジェクトは、実効性の高い技術を有する企業等によってコンソーシアム(インテグレーター, ベンダー)を設立して取り組みます。
 - ①インテグレーターとは? 個々の技術は持っていないが、全体を一つにまとめるアイデアや技術を持っている企業等のことです。
 - ②ベンダーとは? 全体を一つにまとめる技術は持っていないが、テーマの一部の技術を持っている企業等のことです。
- 実施が決定したコンソーシアムは、**農業経営者が提供する実証フィールド**(実証フィールドは県が指定)で、**農業技術指導所と連携**しながら実証試験を行い、経営モデルの構築に取り組みます。
- インテグレーターがコンソーシアムを運営し、プロジェクト全体をマネジメントします。



4 プロジェクト選定までの流れ

③ インテグレーターとベンダーとのマッチング

- インテグレーターとベンダーとのマッチングは、本県ホームページ上に**各企業のアイデア・技術一覧**を公開し、**各企業の連絡先を併せて掲載**しますので、相手方に直接ご連絡いただくことができます。
- 事務局においても、**希望者同士のマッチング**をコーディネートさせていただく予定です。



4 プロジェクト選定までの流れ

④ 本テーマ(プロジェクトテーマ)の決定

1 本テーマ(プロジェクトテーマ)の決定

- 審査委員会において、参加企業からの応募状況(アイデア・技術, 見積額等)やマッチングの状況などをみて、適切なテーマ及び事業費を設定します。
- 本テーマ(プロジェクトテーマ)については、決まり次第, 参加企業の皆さんにお知らせします。

2 プロジェクト計画の範囲

- 本テーマ(プロジェクトテーマ)については、プロジェクトがテーマ(品目・作型)の全工程の経営モデルの確立(図:Project-A)をするプランとならず, 一部の改善(図:Project-B)を行うプランとなることも想定しています。

《技術実証のイメージ》



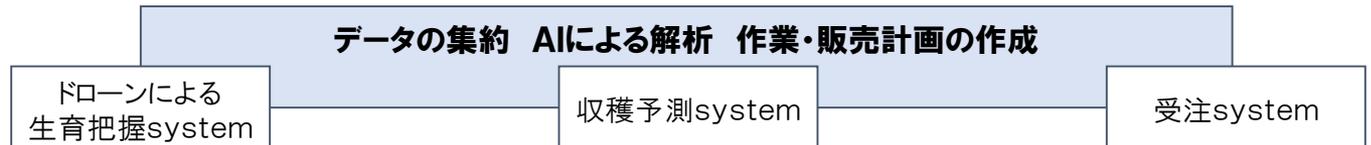
生産から販売までの一貫体制による収益性の向上

Project A



収穫予測から販売情報の発信力強化による収益性の向上

Project B



4 プロジェクト選定までの流れ

⑤ プロジェクト計画書の募集

1 計画書の提出企業 インテグレーターとなる企業(代表提案者)

2 計画書の主な内容

① 技術・アイデア

- テーマに設定されている課題を解決する技術を募集します。
- その技術を広島県に導入するために、実証フィールドにおいて、どのように技術をカスタマイズし、普及するのか記述してください。

② 実施体制

- インテグレーターが代表提案者となります。それ以外のメンバーの役割を明確にしてください。

③ スケジュール及び予算計画

- 最長3年間の月ごとに、どのようなことに取り組むのかを明確にしてください。
- メンバーごとの予算計画を立ててください。採択者には改めて詳細見積を徴取します。

3 募集期間 1か月程度

4 技術の選考基準

- 革新性(課題解決を図ることにより、**生産性向上を実現できるアイデア**か)
- 確実性(**計画どおり**にプロジェクトを**実行**することが**可能**なのか)
- 費用対効果(委託費に対し、**高いレベルの技術カスタマイズ**を実施する計画となっているか)
- 普及性(実証成果を、**県内に普及させるプラン**が描かれているか)

5 プロジェクトを成功に結びつけるための支援

① 実証費用の支援

- 実施が決定したコンソーシアムに対し、技術のカスタマイズや実証試験に必要な材料費、交通費など3年間で最大4,000万円程度の必要経費を支援します。

② 実証フィールドの提供

- スマート農業の導入による経営改善を目指している農業経営者のほ場を提供します。
- ほ場を提供した農業経営者から技術等に対する意見を直接、ヒアリングをすることができます。

③ 農業技術指導所(普及指導員)による実証試験のサポート

- 各産地の生産技術に精通した農業技術指導所の普及指導員が、実証試験の方法のアドバイスや日々のデータ収集などの支援を行います。

④ 農業経営などのアドバイザーの派遣

- 実証試験の実施や取りまとめにあたり、栽培技術や経営モデルの構築など、コンソーシアムでの検討に必要なアドバイザーを派遣します。

⑤ 技術の普及に向けたバックアップ

- 実証試験によって確立した経営モデルやスマート農業技術の広島県内への普及については、農業経営者を対象とした説明会を開催するなど、普及に向けた支援を行います。

⑥ サテライトオフィスの提供

- 実証フィールドでの試験やコンソーシアムの運営などのために必要な現地でのサテライトオフィスの設置を支援します。

6 お問い合わせ先

課 名：広島県農林水産局農業経営発展課

担 当：スマート農業推進担当

電 話：082-513-3533(ダイヤルイン)

メール：noukeiei@pref.hiroshima.lg.jp